2022年度　授業シラバス

科目名	英会話	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

英語がコミュニケーションのツールとして絶対的に必要なこの時代、
みなさんが業界で活躍するにあたって、海外にも視野を向けてより可能性を広げられるように、
「英語と好きなこと」や「英語と身近なこと」を関連させたり、英語で「話す」ことで、英語のコミュニケーション能力を習得します。

【到達目標】

国際教育の一環として日常会話だけでなく実践的な英語表現およびコミュニケーション力を習得する

【教員の略歴】

学生時代の留学経験を活かし、舞台・CM出演など女優として活動。
劇団の団長も務める。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	英語で自己紹介　準備・発表①		①	行ってみたい国・場所を英語で教えて！準備・発表①	
②	英語で自己紹介　準備・発表②		②	行ってみたい国・場所を英語で教えて！準備・発表②	
③	日本にいても英語は上達できる？！		③	旅行先で使える英語表現	
④	英語は話せないと聞き取れない？！		④	学校では教えてくれない！英語の流行語・省略語	
⑤	聞き取れるようになる！「英語の電車アナウンス　」		⑤	英語にも敬語がある？！	
⑥	クイズでSpelling！①		⑥	クイズでSpelling！③	
⑦	好きなことを英語で教えて！準備・発表①		⑦	宝物・尊敬している人を英語で教えて！準備・発表①	
⑧	好きなことを英語で教えて！準備・発表②		⑧	宝物・尊敬している人を英語で教えて！準備・発表②	
⑨	歌の歌詞から学ぶ英語①		⑨	歌の歌詞から学ぶ英語②	
⑩	英語で歌えるようになってみよう！①		⑩	英語で歌えるようになってみよう！②	
⑪	英語の発音に「正しい」はない？！	前期試験	⑪	映画のセリフから学ぶ英語②	後期試験
⑫	クイズでSpelling！②		⑫	クイズでSpelling！④	
⑬	映画のセリフから学ぶ英語①		⑬	仕事で使える英語表現	
⑭	映画のセリフなど、マネしてみた！　準備・発表①		⑭	将来の夢を英語で教えて！準備・発表①	
⑮	映画のセリフなど、マネしてみた！　準備・発表②		⑮	将来の夢を英語で教えて！準備・発表②	

準備学習 時間外学習	日々、日常に溢れている身近な英語に意識を向け、 「これって英語でなんて言うんだろう？」 「この英語はどういう意味だろう？」 といったような疑問を持って授業に臨んでほしいです！	評価方法	授出席率・授業態度によって評価します。
受講生への メッセージ	日本国内にとどまらず、 グローバルに活躍する自分をイメージしてほしいです！	使用教科書 教材 参考書	YouTubeなどは教材としても積極的に活用してほしいです！

2022年度　授業シラバス

科目名	コンピューター	必修選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	講義	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
実務上、必ずスキルが必要とされるOfficeアプリケーションのWordとExcelについて、実習を通して学習する。
各回、履修した内容についての課題を、当日、もしくは翌週以降におこない、操作を繰り返すことにより、必要なスキルを習得する。

【到達目標】
実務レベルに対応できるスキルをつけることを目標とする。

【教員の略歴】
Word,Excel基本的な操作や機能の習得だけではなく、自身のグラフィックデザイナーとしての経験を活かし、Wordで作成する文書であっても、Excelで作成するワークシートであっても、仕上がりの見やすさや見栄えの良さにも気を配ることを含めて、指導するように心掛けている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	授業ガイダンス・環境確認		①	Excel第1章　Excelの基本操作	
②	Word第1章　Wordの基本操作、		②	Excel2章　数式の作成	
③	Word第2章　文章の編集		③	Excel第3章　表の編集	
④	Word第3章　表現力のある文書作成		④	Excel第4章　グラフの作成	
⑤	Word第4章　図形の応用		⑤	Excel第5・6章　印刷・ワークシートの操作	
⑥	Word第5章　表の作成		⑥	Excel第7章　いろいろな関数	
⑦	Word第6章　Wordの便利な機能		⑦	Excel第8・9章　Excelの便利な機能	
⑧	Word第7章　SmartArtグラフィック		⑧	Excel第10章　Excelの活用・復習課題	
⑨	Word総復習課題		⑨	後期試験準備のための模擬試験	
⑩	前期試験準備のための模擬試験		⑩	後期試験準備のための模擬試験	
⑪	前期試験（Word）	前期試験	⑪	後期試験	後期試験
⑫	試験振り返り		⑫	試験振り返り	
⑬	Word第8章　表の応用		⑬	Excel第11章　Excelの活用・復習課題	
⑭	Word第9章　文書をサポートする機能		⑭	Word・Excel総復習課題	
⑮	Word第10章　文書をサポートする機能　応用		⑮	Word・Excel総復習・まとめ	

準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、次回出席のこと。	評価方法	授業態度、出席率、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生へのメッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。苦手な箇所や、欠席した際には、その内容をしっかりと復習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	滋慶出版Word2016・Excel2016 USBメモリ必携

2022年度　授業シラバス

科目名	ビジネスマナー	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
社会人基礎力を養うことを念頭に、座学のみではなく、アクティブラーニングを用い、数多くのワークから心技（頭）体で学ぶ。

【到達目標】
ビジネスパーソン必須のビジネスマナー・コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキル・企画・発想力を、チームプロジェクトを通して理解する。

【教員の略歴】
IT講師として、小・中・高・大学、専門学校までの教育機関、企業・官公庁研修、社会人教育、一般市民講習と言った幅広い年齢層対象の様々な講習を担当。資格保有数は50を超え、IT資格のみならず、キャリアコンサルタント・コーチング・秘書検定などの資格も保持しており、関西では40以上の学校で講義経験を持つ。2000年からIT授業や就職支援講座、キャリア面談も担当

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	キャリアを考える（過去・現在・未来）		①	自己理解を深めるⅠ	
②	高校と専門学校の違い・学生と社会人の違い		②	自己理解を深めるⅡ	
③	就活ガイダンス		③	自己理解を深めるⅢ	
④	コミュニケーション3つのポイント		④	応募書類の書き方（ポイント）	
⑤	コミュニケーション（情報共有）		⑤	応募書類の書き方（自己PR）	
⑥	コミュニケーション（チームプロジェクト）		⑥	応募書類の書き方（学生時代に力を入れたこと）	
⑦	自己理解Ⅰ（主観的理解）		⑦	グループワーク・グループディスカッションⅠ	
⑧	自己理解Ⅱ（客観的理解）		⑧	グループワーク・グループディスカッションⅡ	
⑨	自己PRⅠ		⑨	グループワーク・グループディスカッション プレゼンテーション	
⑩	自己PRⅠプレゼン		⑩	ビジネスマナー（メール・電話）	
⑪	自己PRⅡ		⑪	面接のマナー	
⑫	自己PRⅡプレゼン		⑫	試験	後期試験
⑬	試験	前期試験	⑬	企業・業界研究	
⑭	自己PR（プロフィールシート作成）		⑭	模擬面接Ⅰ	
⑮	ビジネスマナーの基本		⑮	応募書類の書き方（志望動機）	

準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。	評価方法	出席率、ワークへの参加姿勢、課題提出率・完成度、 臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	自分が自分の人生の主役として、主体的にキャリア設計をおこないましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	講師オリジナル教材

2022年度　授業シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	講義	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
・社会人の基本である挨拶をきちんと出来るようにする。
・社会人として必要なコミュニケーション能力を学び、事務技能、一般マナーを身につける。

【到達目標】
企業が求めている即戦力及び人間力を身に付け、実行できる生徒を育成し、社会人としてどのような業界でも実力を発揮し自分の将来ひいては企業の将来を担っていく人材を輩出する。

【教員の略歴】
秘書検定1級・ビジネス技能検定・サービス接遇準1級を取得し、大学・専門学校で約20年秘書検定、ビジネスマナー、就職指導を担当しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	ガイダンス・コミュニケーションとは?　　挨拶・おじぎ		①	4章　社会的スキルⅡ、Ⅲ	
②	2章　基本スタイルⅠ　1～3		②	4章　社会的スキルⅡ　3～4	
③	2章　基本スタイルⅠ　4～6		③	4章　社会的スキルⅡ　6～7	
④	2章　基本スタイルⅡ		④	4章　社会的スキルⅢ1～2	
⑤	3章　自己表現スキルⅠ　1～3		⑤	4章　社会的スキルⅢ　3～5	
⑥	3章　自己表現スキルⅠ　4～6		⑥	サービスマインドⅠ　1	
⑦	3章　自己表現スキルⅡ　1～3		⑦	サービスマインドⅠ　2～3	
⑧	3章　自己表現スキルⅡ　4～6		⑧	サービスマインドⅡ　1	
⑨	3章　自己表現スキルⅢ　1～2		⑨	サービスマインドⅡ2～3	
⑩	3章　自己表現スキルⅢ　3～4		⑩	プレゼンテーション　自己アピール	
⑪	復習　模擬テスト	前期試験	⑪	検定　過去問題対策	後期試験
⑫	プレゼンテーション　自己アピール		⑫	直前　検定問題対策	
⑬	4章　社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑬	直前　検定問題対策	
⑭	4章　社会的スキルⅠ、Ⅱ		⑭	コミュニケーションスキルアップ検定	
⑮	前期・総復習		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	コミュニケーションスキルアップ検定に向けて過去問とテキストの復習をしっかりしましょう。	評価方法	授業態度、ワークによる参加型授業による平常点を重視しつつ筆記試験点数を加算する。
受講生への メッセージ	しっかり授業を受ければ、必ず資格取得ができます。一緒に頑張りましょう。	使用教科書 教材 参考書	コミュニケーションスキルアップ検定

2022年度　授業シラバス

科目名	滑舌・アクセント	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
滑舌・鼻濁音・無声化・アクセント等の徹底指導
学生ひとりひとりの出来具合によって、様々な脚本などを使用

【到達目標】
言葉を仕事にすることの理解、きちんと聞きとれる滑舌と標準語のアクセントを習得

【教員の略歴】
ナレーター　MC　スポーツ実況　テレビ・ラジオの番組キャスター　リポーターを経験。
車内アナウンスの声も担当している。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介・腹式呼吸とは		①	「二十四の瞳」①　原稿を読む	
②	鼻濁音、無声化とは		②	「二十四の瞳」②　表現する	
③	鼻濁音、無声化とは　「あめんぼ赤いな」		③	「二十四の瞳」③　発表する	
④	「オキテキケ、キタノキハンセン」		④	「ごんぎつね」③　原稿3枚目を読む	
⑤	「雨ニモ負ケズ」①　原稿を読む、表現する		⑤	「ごんぎつね」④　原稿4枚目を読む	
⑥	「雨ニモ負ケズ」②　発表する		⑥	「ごんぎつね」⑤　原稿5枚目を読む	
⑦	「ういろう売り」①　原稿を読む、表現する		⑦	テレビ番組のナレーション、天気予報　練習する	
⑧	「ういろう売り」②　発表する		⑧	「ごんぎつね」⑥　原稿6枚目を読む	
⑨	「私達のキンキ」①　原稿を読む、表現する		⑨	「ごんぎつね」⑦　原稿7枚目を読む	
⑩	「私達のキンキ」②　発表する		⑩	「ごんぎつね」⑧　原稿8枚目を読む	
⑪	「雨傘」川端康成①　原稿を読む、表現する		⑪	試験	後期試験
⑫	「雨傘」川端康成②　発表する		⑫	「ごんぎつね」⑨　表現する、発表する	
⑬	「ごんぎつね」①　原稿1枚目を読む		⑬	テレビCMやラジオCM、NEWSなど①　練習する	
⑭	試験	前期試験	⑭	テレビCMやラジオCM、NEWSなど②　練習する	
⑮	「ごんぎつね」②　原稿2枚目を読む		⑮	館内放送	

準備学習 時間外学習	自主練を欠かさず行いましょう。	評価方法	試験、出席率、授業態度 学んだ事をどれくらい表現できるか前向きかどうか
受講生への メッセージ	エネルギッシュに前向きに！	使用教科書 教材 参考書	「ういろう売り」など基礎となる教材を使用

2022年度　授業シラバス

科目名	演技基礎	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
エンターテイナーとして必要な演技力、心構え、度胸を養う

【到達目標】
役作りのプランニング方法の習得。及び柔軟な思考を育て、演者としての心得を学ぶ。

【教員の略歴】
俳優として活動する傍ら、全国の芸能事務所やスクール等で芸能を目指す人材への演技指導や殺陣指導も行い、子役からシニアまでこれまでに1000名以上の俳優を育てている。関西テーマパークでの大型ショーのアクションコーディネートや舞台・ショーの殺陣指導など幅広い活動を行っている。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	身体訓練①		①	演技メソッド① メソッド概論	
②	身体訓練①		②	演技メソッド② 「心の中のセリフ」	
③	身体訓練① 発音、滑舌の訓練		③	演技メソッド③ 「レセプション」	
④	身体訓練② 発音、滑舌の訓練		④	演技メソッド④ 「二義的」	
⑤	身体訓練③ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)		⑤	「メソッド⑤」 セルクル	
⑥	身体訓練④ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)		⑥	演技演習① 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑦	身体訓練⑤ パワースピーチ(人前に立つ度胸の習得)		⑦	演技演習② 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑧	感情表現① 1P程度の台本		⑧	演技演習③ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑨	感情表現② 1P程度の台本		⑨	演技演習④ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑩	前期試験　パワースピーチ・感情表現	前期試験	⑩	演技演習⑤ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑪	感情表現③ 1P程度の台本		⑪	後期試験　演技演習	後期試験
⑫	感情表現④ 1P程度の台本		⑫	演技演習⑥ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑬	感情表現⑤ 1P程度の台本		⑬	演技演習⑦ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑭	感情表現⑥ 1P程度の台本		⑭	演技演習⑧ 台本を使用してメソッドを当てはめる	
⑮	感情表現⑦ 1P程度の台本		⑮	総評	

準備学習 時間外学習	発声練習を毎日行いましょう。	評価方法	試験・出席率・授業態度・スキルの向上度合
受講生への メッセージ	まず恥ずかしいを無くしましょう。 次に普段自分が無意識に行っている行動はどのように行っているのか有意識化する事が重要。 自分を知ることが演技の上達への近道です。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	表現基礎	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
個人の得意、不得意を見極めそれぞれに必要な訓練を指導する。ゲームやエチュードを通して表現することの楽しさを体験する。

【到達目標】
自分を知り、表現者として必要な声と体の基礎と表現力を身につける。

【教員の略歴】
俳優、演出家、演技指導、ドキュメンタリー監督。。ドキュメンタリー映画などを制作

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	一分間スピーチ		①	基礎トレーニング	
②	一分間スピーチ		②	基礎トレーニング	
③	姿勢を整える①		③	基礎トレーニング	
④	姿勢を整える②		④	モノローグ	
⑤	姿勢を整える②		⑤	モノローグ	
⑥	ヴォイストレーニング①		⑥	モノローグ	
⑦	ヴォイストレーニング②		⑦	エチュード	
⑧	外郎売①		⑧	エチュード	
⑨	外郎売②		⑨	エチュード	
⑩	外郎売③		⑩	基礎トレーニング、モノローグ、エチュード	
⑪	基礎トレーニング		⑪	基礎トレーニング、モノローグ、エチュード	
⑫	基礎トレーニング		⑫	基礎トレーニング、モノローグ、エチュード	
⑬	基礎トレーニング		⑬	モノローグ	後期試験
⑭	外郎売発表	前期試験	⑭	映画鑑賞	
⑮	前期振り返り		⑮	まとめ	

準備学習 時間外学習	日頃の出来事や行動を観察し気に留めておく。	評価方法	定期試験の結果、授業への取り組み態度を参考に各自がどれだけ学び努力したかを評価基準とします。
受講生への メッセージ	分からないことや、不安なことがあればいつでも質問してください。	使用教科書 教材 参考書	配布テキスト、ペットボトル

2022年度　授業シラバス

科目名	演劇・映像史	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
映画やドラマで活躍する俳優＆女優としての必要なノウハウや心構え、基礎知識を学ぶ

【到達目標】
映画/ドラマ/MVなどの映像における『演技』、制作サイドの『映像演出』について学ぶ

【教員の略歴】
全国公開映画などのプロデューサー。キャスティング業務で各事務所と精通

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	映像演技基礎学習1		①	映画ドラマ撮影実習1（ドラマ__1シーン）	
②	映像演技基礎学習2		②	映画ドラマ撮影実習1（ドラマ__1シーン）	
③	オーディション基礎1		③	映画ドラマ撮影実習1（ドラマ__1シーン）	
④	オーディション基礎2		④	映画ドラマ撮影実習1（ドラマ__1シーン）	
⑤	プロフィール作成1		⑤	映画ドラマ撮影実習2（ミュージカル映画__1シーン）	
⑥	プロフィール作成2		⑥	映画ドラマ撮影実習2（ミュージカル映画__1シーン）	
⑦	プロフィール作成3		⑦	映画ドラマ撮影実習2（ミュージカル映画__1シーン）	
⑧	オーディション基礎3		⑧	映画ドラマ撮影実習2（ミュージカル映画__1シーン）	
⑨	オーディション基礎4		⑨	映画ドラマ撮影実習2（ミュージカル映画__1シーン）	
⑩	映画ドラマ　進級製作　オーディション実践	前期試験	⑩	映画ドラマ撮影実習3（映画__1シーン）	
⑪	映像プロフィール作成1（名作映画ワンシーン）		⑪	映画ドラマ撮影　後期試験	後期試験
⑫	映像プロフィール作成2（名作映画ワンシーン）		⑫	映画ドラマ撮影実習3（映画__1シーン）	
⑬	映像プロフィール作成3（名作映画ワンシーン）		⑬	映画ドラマ撮影実習3（映画__1シーン）	
⑭	映像プロフィール作成4（名作映画ワンシーン）		⑭	映画ドラマ撮影実習3（映画__1シーン）	
⑮	映像プロフィール作成5（名作映画ワンシーン）		⑮	総評	

準備学習 時間外学習	映画・ドラマ鑑賞	評価方法	試験、授業への積極参加と、成果物
受講生への メッセージ	現役のプロによる指導ですので、 きちんと学べば必ずプロにはなれます	使用教科書 教材 参考書	映画・ドラマが教材です

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング	必修選択	必修選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
音感を鍛え、自分の声を使って正しく発声＆音を取り、心で歌えるような歌唱を学習します。
基本的には、基礎トレーニング（ボイトレやイヤトレ）と、課題曲を使って歌っていきます。

【到達目標】
音楽理論との繋がりを具体的に捉え、音感の強化を図る。

【教員の略歴】
シンガーソングライター
活動当初よりテーマソングやイメージソング、映画音楽、舞台演劇の劇中歌など数々の楽曲制作・歌唱演奏を担当。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	音感チェック		①	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
②	基礎トレーニング（声の出し方など）		②	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
③	基礎トレーニング＆フレーズ練習		③	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
④	基礎トレーニング＆フレーズ練習		④	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑤	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑤	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑥	ハーモニー練習		⑥	コーラス練習	
⑦	ハーモニー練習		⑦	コーラス練習	
⑧	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑧	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑨	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑨	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑩	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑩	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑪	音感チェック、歌	前期試験	⑪	音感チェック、歌	後期試験
⑫	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑫	基礎トレーニング＆フレーズ練習	
⑬	基礎トレーニング＆フレーズ練習		⑬	グループチェック	
⑭	個人チェック		⑭	グループチェック	
⑮	個人チェック		⑮	総評	
準備学習 時間外学習	出来るだけたくさんの曲を聴く。 できるだけピアノを触る。 授業の復習をする。		評価方法	出席率や授業態度、夢への取り組み方や試験の内容で評価します。	
受講生へのメッセージ	健康管理をしっかりしてください！		使用教科書 教材 参考書	その都度こちらで用意します。	

2022年度　授業シラバス

科目名	パフォーマンス・ベーシック	必修選択	必修選択	年次	1	学科名	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

アクションを演じる上での基礎体力をつけるためのトレーニング方法。現代アクションを演じる際の危険要素を知ってもらい、それらを回避するための知識と技術を身につける。特に自分の身体を守り且つ、映像・舞台で有効な受身の練習。格闘やけんかなどのアクションシーンを演じるための基礎知識と技術を経験しながら身につける。

【到達目標】

テレビや映画、舞台においての殺陣・現代アクションを安全且つ効果的に演じる為の基礎技術・知識・体力を身に付け殺陣や疑斗を演じる楽しさや難しさを体感し理解する。
1年次は、主に現代アクションを中心に学ぶ。

【教員の略歴】

十代でスタント・アクション俳優の養成学校に入所、卒業後、事務所に所属、スタントパフォーマーとして活動、映画やテレビ番組に参加、その後、アクションコーディネーター・殺陣師として、映画撮影所やドラマ撮影などで活動しています。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	受身の基礎（マット運動）		①	擬斗の基礎知識	
②	受身の基礎（マット運動）反復練習		②	擬斗においての殴り方とリアクション	
③	受身の基礎（肩回り受身）		③	擬斗においての殴り方とリアクション　反復練習	
④	受身の基礎（肩回り受身）反復練習		④	擬斗においての避け方・受け方	
⑤	受身の基礎（横回り）		⑤	擬斗においての避け方・受け方　反復練習	
⑥	受身の基礎（横回り）反復練習		⑥	擬斗においての蹴り方	
⑦	受身の基礎（後ろ回り）		⑦	擬斗においての蹴り方　反復練習	
⑧	受身の基礎（後ろ回り）反復練習		⑧	擬斗のコンビネーション	
⑨	受身の基礎（飛び込み受け身）		⑨	擬斗のコンビネーション　反復練習	
⑩	受身の基礎（飛び込み受け身）反復練習		⑩	実践的な擬斗	
⑪	前期の復習　及び　前期試験	前期試験	⑪	後期の復習　及び　後期試験	後期試験
⑫	受け身の応用（着弾リアクション）		⑫	台本を読みながらアクション	
⑬	受け身の応用（着弾リアクション）		⑬	台本を読みながらアクション	
⑭	受け身の応用（爆発リアクション）		⑭	台本を読みながらアクション	
⑮	受け身の応用（爆発リアクション）		⑮	振り返り	

準備学習時間外学習	ストレッチや柔軟運動、筋トレなどを日常的に行う。また、アクションの要素が含まれた映画を鑑賞する。	評価方法	前期・後期末に試験を行い、それまで学んだことを実演していただき評価します。また、日ごろの授業に対する姿勢・態度・出席率を考慮し、授業外での日々の鍛錬も評価の対象とします。
受講生へのメッセージ	映画・テレビドラマでアクションシーンを演じる上で必要な知識・体力を体を動かし、楽しみながら身に付けていきましょう。	使用教科書教材参考書	マット（学校で準備）／運動着・上履き・肘膝用サポーター（各自で持参してください）

2022年度　授業シラバス

科目名	映像基礎	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎表現から映像での表現まで、毎回実習あるのみ！

【到達目標】
映像制作・舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる

【教員の略歴】
俳優・脚本・演出の仕事をし現在は劇団の代表も務めております。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	連想ゲーム		①	ワンシーンをやってみる　4	
②	基礎表現　1		②	ワンシーンをやってみる　5	
③	基礎表現　2		③	ショートストーリーに挑戦　1	
④	基礎表現　3		④	ショートストーリーに挑戦　2	
⑤	シチュエーション表現　1		⑤	ショートストーリーに挑戦　3	
⑥	シチュエーション表現　2		⑥	ショートストーリーに挑戦　4	
⑦	シチュエーション表現　3		⑦	ショートストーリーに挑戦　5	
⑧	セリフに挑戦　1		⑧	作品制作　1	
⑨	セリフに挑戦　2		⑨	作品制作　2	
⑩	一人で長ゼリフ	前期試験	⑩	作品制作　3	
⑪	セリフに挑戦　3		⑪	グループに分かれてのシーンテスト	後期試験
⑫	セリフに挑戦　4		⑫	台本表現　1	
⑬	ワンシーンをやってみる　1		⑬	台本表現　2	
⑭	ワンシーンをやってみる　2		⑭	台本表現　3	
⑮	ワンシーンをやってみる　3		⑮	1年間のまとめ	

準備学習 時間外学習	セリフは次の授業までに覚えてくる	評価方法	試験・出席率・授業態度を評価 （技術はその次。実際の業界も同じなので）
受講生への メッセージ	礼儀・マナーをしっかりと心掛けてほしいです	使用教科書 教材 参考書	特になし

2022年度　授業シラバス

科目名	メイクアップ・ベーシック	必修選択	必修選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】

1年を通してアシスタント業務の取得　ジュニアスタイリストとしての技術取得

【到達目標】

ヘアメイク基礎技術の習得

【教員の略歴】
ホテル婚礼全般 一般サロン ヘアメイク着付 アイラッシュ

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	基礎知識 道具に慣れる		①	あみこみⅠ	
②	ブロッキング カーラー巻き		②	あみこみⅡ	
③	カーラー巻き コテ巻き		③	ダウンスタイル	
④	カーラー巻き 土台作り		④	模写Ⅰ	
⑤	夜会Ⅰ 基本		⑤	模写Ⅱ	
⑥	夜会Ⅱ 毛たぼ		⑥	模写Ⅲ	
⑦	夜会Ⅲ ルーズ		⑦	成人式ヘアメイクⅠ	
⑧	カールアップⅠ 結ぶ		⑧	成人式ヘアメイクⅡ	
⑨	カールアップⅡ ピン		⑨	似合わせⅠ 洋アレンジ	
⑩	カールアップⅢ ルーズ		⑩	試験課題	
⑪	カーラー 夜会 カールアップ　試験	前期試験	⑪	試験2スタイル	後期試験
⑫	試験フォロー		⑫	試験フォロー	
⑬	スキンケア		⑬	似合わせⅡ 和アレンジ	
⑭	ベースメイク		⑭	似合わせⅢ 洋和アレンジ	
⑮	トータルメイク		⑮	後期復習	

準備学習 時間外学習	人のスタイルに興味を持つ	評価方法	実技試験 授業態度 出席率
受講生への メッセージ	楽しく過ごしたいのか上手くなりたいのかで 取り組む姿勢は変わります	使用教科書 教材 参考書	ウィック クランプ コーム ブラシセット ゴム ホットカーラー ヘアアイロン 毛たぼ 筆記具 メイクセット

2022年度　授業シラバス

科目名	表現演習	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ストレッチ、柔軟、バーレッスン、センターレッスンなど

【到達目標】
バレエレッスンを通して、姿勢を良くし、身体の軸を鍛えると共に、柔軟な身体作りや、表現力の向上を目指す。

【教員の略歴】
バレエやTAPを学び、TV番組などで数々のアーティストのバックダンサーを経験する。その他、アメリカ公演、オーストラリア公演など、海外でのショーへも参加。以後バレエ、TAP、JAZZの講師を務める。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	バレエとは、ストレッチ（基本）		①	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン	
②	バレエとは、ストレッチ（基本）		②	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン	
③	ストレッチ、バー、ジャンプ（基本）		③	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン	
④	ストレッチ、バー、ジャンプ（基本）		④	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン	
⑤	ストレッチ、バー、ジャンプ（基本）		⑤	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン	
⑥	ストレッチ、バー、ジャンプ（基本）		⑥	ストレッチ、バー、ジャンプ（inter）	
⑦	ストレッチ、バー、ターン（基本）		⑦	ストレッチ、バー、ジャンプ、（inter）	
⑧	ストレッチ、バー、ターン（基本）		⑧	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン（inter）	
⑨	ストレッチ、バー、ターン（基本）		⑨	ストレッチ、バー、コンビネーション(基礎)	
⑩	ストレッチ、バー、試験のコンビネーション	前期試験	⑩	ストレッチ、バー、コンビネーション(基礎)	
⑪	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン（復習）		⑪	ストレッチ、バー、試験のコンビネーション	後期試験
⑫	ストレッチ、バー、コンビネーション		⑫	ストレッチ、バー、コンビネーション(応用)	
⑬	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン（復習）		⑬	ストレッチ、バー、コンビネーション(応用)	
⑭	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン（復習）		⑭	ストレッチ、バー、コンビネーション(応用)	
⑮	ストレッチ、バー、ジャンプ、ターン（復習）		⑮	1年間の復習	

準備学習 時間外学習	柔軟	評価方法	試験、授業の取り組方、ポジション、ステップの正確さ、表現力
受講生への メッセージ	バレエはレッスンの積み重ねが大切です。レッスンを通じて美しい姿勢や立ち振る舞いを習得すると共に、忍耐力や表現力を育んでいきましょう。	使用教科書 教材 参考書	男子　バレエシューズ、タイツ 女子　バレエシューズ、タイツ　レオタード、スカート

2022年度　授業シラバス

科目名	演技演習	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎表現から舞台での表現まで、毎回実習あるのみ！

【到達目標】
舞台制作のノウハウを習得し、自ら表現できる場所を生み出す力を育てる

【教員の略歴】
芸能プロダクション所属、俳優、お笑い、ラジオDJ、などマルチに活動

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	発想力を養う連想ゲーム		①	ドラマのワンシーンに挑戦（本読み・立ち稽古）	
②	基礎表現　1「あ」からはじまる基礎表現		②	ドラマのワンシーンに挑戦（台本を持たないで）	
③	基礎表現　2「あ」から言葉にかえて基礎表現		③	ドラマのワンシーンに挑戦（撮影）	
④	基礎表現　3 グループに分かれて基礎表現		④	映画のワンシーンに挑戦（本読み・立ち稽古）	
⑤	シチュエーション表現　1 キャラクターの表現		⑤	映画のワンシーンに挑戦（台本を持たないで）	
⑥	シチュエーション表現　2 場所の表現		⑥	映画のワンシーンに挑戦（撮影）	
⑦	シチュエーション表現　3 グループに分かれて表現		⑦	グループでドラマのワンシーンに挑戦（本読み・立ち稽古）	
⑧	簡単なワンシーンを表現してみる　1 台本を持ちながら		⑧	グループでドラマのワンシーンに挑戦（台本を持たないで）	
⑨	簡単なワンシーンを表現してみる　2 台本を持たないで		⑨	グループでドラマのワンシーンに挑戦（動きを入れて）	
⑩	BGMをつけて本格的にワンシーンを演じてみる		⑩	グループでドラマのワンシーンに挑戦（撮影）	
⑪	ワンシーンの長ゼリフをひとりでやってみよう		⑪	グループでドラマのワンシーンに挑戦（動画のチェック）	
⑫	本格的なワンシーンを表現してみる（台本を持ちながら）		⑫	演劇台本に挑戦（本読み・立ち稽古）	後期試験
⑬	本格的なワンシーンを表現してみる（台本を持たないで）	前期試験	⑬	演劇台本に挑戦（台本を持ちながら）	
⑭	本格的なワンシーンを表現してみる（動きを入れて）		⑭	演劇台本に挑戦（自分の思うようにやってみる）	
⑮	本格的なワンシーンを表現してみる（撮影あり）		⑮	演劇台本をとおしでやってみる	
準備学習 時間外学習	セリフは次の授業までに覚えてくる		評価方法	試験・出席率・授業態度を評価	
受講生への メッセージ	俳優にとって一番大切な礼儀・マナーをしっかりと心掛けてほしいです		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	ステージ・パフォーマンス	必修選択	必修選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ステージングのブラッシュアップをします。
一人一人の良さを引き出すステージング、歌唱を目指し、レベル確認と必要に応じてボイストレーニングをします。

【到達目標】
ヴォーカリストとして必要な姿勢や立ち振る舞い、振りを学び
人前で魅せることのできるステージングを養います。

【教員の略歴】
コーラスグループ活動で長年様々なステージに立つと同時にゴスペルワークショップでのディレクターとしての経歴を持つ。独立後は、関西、関東で活躍するボーカルユニット主宰する歌のワークショップのディレクターや企業のワークショップ、アイドルグループ等のボイストレーナーとしても活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション		①	リズムトレーニング	
②	ステージングについて		②	リズムトレーニング	
③	発声指導		③	リズムトレーニング	
④	発声指導		④	レベルチェック	
⑤	発声指導		⑤	ステージングレッスン	
⑥	レベルチェック		⑥	ステージングレッスン	
⑦	歌唱指導		⑦	ステージングレッスン	
⑧	歌唱指導		⑧	レベルチェック	
⑨	歌唱指導		⑨	個人レッスン	
⑩	レベルチェック	前期試験	⑩	個人レッスン	
⑪	ステージに立った際の姿勢、仕草、表現		⑪	グループレッスン	後期試験
⑫	ステージに立った際の姿勢、仕草、表現		⑫	グループレッスン	
⑬	選曲		⑬	発表	
⑭	個人ボイストレーニング		⑭	ライブ	
⑮	個人ボイストレーニング		⑮	総評	

準備学習 時間外学習	ステージングの見直し、歌唱指導後の改善	評価方法	試験、ステージング全般（技術面、ステージに立つ際の好感度等、取り組む姿勢）が評価になります。
受講生へのメッセージ	ステージングが格好良くなると、自信がつきます！先ずは自分の好きなアーティスを手本にしてトライしてきましょう！	使用教科書 教材 参考書	特にありません。

2022年度　授業シラバス

科目名	アテレコ・アフレコ	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基礎台本から現場で実際に使われている台本まで、様々な台本を通して、必要な考え方を身につけながら、基礎力をつける。

【到達目標】
タレントとして必要な声で表現（演技に必要な技法）を知り、マイク前での演技の基礎を身につける。

【教員の略歴】
大阪のプロダクションに所属。現在キャラクターボイスを中心に、様々な分野で幅広く活躍中。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	声優にとって一番大切な事を知る		①	台本を正しく読む	
②	声で表現（基礎①）		②	台本の読み取り	
③	声で表現（基礎②）		③	言葉の表現	
④	声で表現（基礎③）		④	複雑な感情の表現	
⑤	複数人で台本を読む		⑤	様々な台本を見比べる	
⑥	複数人で演じる時の注意点		⑥	様々な仕事を体験する①	
⑦	自分の立ち位置を知り表現する		⑦	様々な仕事を体験する②	
⑧	オーディションに向けて		⑧	様々な仕事を体験する③	
⑨	試験前練習		⑨	試験前練習	
⑩	試験（基礎力）		⑩	試験（求められた演技ができるか）	
⑪	試験（基礎力）	前期試験	⑪	試験（求められた演技ができるか）	後期試験
⑫	オーディションに向けて		⑫	様々な仕事を体験する④	
⑬	オーディション体験		⑬	様々な仕事を体験する⑤	
⑭	オーディション体験		⑭	二年生に向けて必要な事	
⑮	オーディション体験		⑮	二年生に向けて必要な事	

準備学習 時間外学習	予習復習は絶対必須！。腹筋・背筋・口筋・人間力を常に鍛え、色々な声に意識をもってモノマネをし、自分の引き出しを増やして下さい。	評価方法	試験・授業の出席率・授業態度・基礎力・授業の内容が理解できて表現できるかどうかなど
受講生へのメッセージ	この業界にゴールはありません。基礎的な事は勿論ですが、プロの考え方を教えていきます。台本にはないヒントがたくさんあるので、考え方を盗み、自分のものにして、自宅でも自分が講師になって自身を磨けるように、耳を鍛えてください！	使用教科書 教材 参考書	基礎台本・演劇台本

2022年度　授業シラバス

科目名	ヴォーカル・レッスン	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
・発声練習（基礎から応用へ）
・課題曲を練習する事で歌詞の意味を考え、表現する事を練習する。（音の強弱やニュアンス・アクセントなど）

【到達目標】
ユニットとしての魅せ方、ユニットの中での個人の魅せ方を習得し、パフォーマンス力・表現力を高める。
また、個人プレーでは成立しない、チームプレーの難しさ・チームワークの重要性を学び、コミュニケーション力の強化を目的とする。

【教員の略歴】
ソロシンガーとしてイベント・ディナーショー・アーティストのサポート・テーマパークシンガー・CMソングなど多数出演する。と同時にクワイアーのソリスト・講師として東京　名古屋　大阪　京都など各地で精力的に活動。ボーカルグループメンバーとしてもイベント・コンサート・TV等に出演する。

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	今年度と上半期の各自目標設定 発声基礎・自主目標作成		①	年間目標にむけての下半期の目標設定	
②	各自のレベルチェック 発声基礎・各自レベルチェック		②	練習成果発表	
③	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習		③	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
④	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習		④	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
⑤	発声の基礎・歌唱指導　　課題曲を用いて練習		⑤	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
⑥	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑥	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
⑦	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑦	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
⑧	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑧	発声の基礎・歌唱指導 課題曲を用いて練習	
⑨	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑨	今年の振り返りと冬期休暇中の課題設定	
⑩	前期試験	前期試験	⑩	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導	
⑪	各自自主目標に対しての現状を確認し、 課題を見つける。		⑪	後期試験	後期試験
⑫	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑫	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導	
⑬	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑬	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導	
⑭	発声の基礎・歌唱指導 イベントを想定しての歌唱指導		⑭	各自自主目標に対しての現状を確認し、 課題を見つける。	
⑮	上半期の振り返りと夏季休暇中の課題設定 各自自主目標に対しての現状を確認し、課題を見つける。		⑮	総まとめ 一年間の振り返りと今後の目標設定	
準備学習 時間外学習	課題曲の練習と授業で指摘した事についての自主練習		評価方法	評価方法 実技テスト①歌唱力（声量・音程）②表現力（アクセント・抑揚・フェイク）について評価する。 評価基準 技能レベル・技能習熟度・授業に対しての積極性・授業出席率	
受講生への メッセージ	歌を通して色々な表現方法を身に付けて欲しいと思います。		使用教科書 教材 参考書	特になし	

2022年度　授業シラバス

科目名	作詞＆作曲・編曲	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
オリジナル制作に向けてのコンセプト、イメージをきちんと決め楽曲制作として形に起こしていく

【到達目標】
コンピュータミュージックを学ぶことによりPC操作能力の向上や作曲･アレンジ力を磨く

【教員の略歴】
専門学校へ進学。コンピューターミュージックを選択し作曲を学ぶ。作曲家としてデビュー

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	パソコン、DAWについて		①	オーディオミックスの方法	
②	周辺機器の説明、接続方法		②	オーディオミックスの方法	
③	画面の各説明、基本操作		③	エフェクターの説明	
④	MIDIの打ち込み、実践		④	エフェクターの説明	
⑤	MIDIの打ち込み、実践		⑤	エフェクターの説明	
⑥	MIDIの打ち込み、実践		⑥	楽曲を使ってミックスの説明	
⑦	オーディオの編集		⑦	楽曲を使ってミックスの説明	
⑧	オーディオの編集		⑧	楽曲を使ってミックスの説明	
⑨	オーディオ編集		⑨	楽曲を使ってミックスの説明	
⑩	実技テスト	前期試験	⑩	楽曲を使ってミックスの説明	
⑪	MIDIとオーディオを使って自由な発想で創作		⑪	実技テスト	後期試験
⑫	MIDIとオーディオを使って自由な発想で創作		⑫	オリジナル楽曲制作	
⑬	MIDIとオーディオを使って自由な発想で創作		⑬	オリジナル楽曲の発表	
⑭	MIDIとオーディオを使って自由な発想で創作		⑭	評価	
⑮	MIDIとオーディオを使って自由な発想で創作		⑮	一年間の復習	

準備学習 時間外学習	音楽に対する関心、興味、探求心をもつ。 音楽を深く掘り下げて聴く習慣をつける。	評価方法	試験、授業で学んだことへの努力、または姿勢
受講生への メッセージ	今年は自分のオリジナル楽曲をなるべく自分の力で、形にできるよう頑張りましょう。そのためにも、楽曲のアレンジイメージ、背景をきちんと描いて自分の世界表現できるよう、日々音楽をしっかり聴いて分析し実践して取り組んでください。	使用教科書 教材 参考書	Windowsノートパソコン、ヘッドフォン、DTMセット

2022年度　授業シラバス

科目名	メイク＆スタイリング	必修 選択	必修 選択	年次	1	学科	タレント科　昼間Ｉ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	60 （4単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
ヘアメイクの基礎と応用メイク

【到達目標】
造りたいイメージに必要な技術があることを認識し、自主的学習の意欲を向上させ、二年次の進路決定を確実なものにする。

【教員の略歴】
LIVE・映画・TV・CM・イベント・舞台などのヘアメイクを担当

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	自己紹介　道具紹介		①	テーマメイク　キュートメイク	
②	肌の構造　スキンケア		②	ヘアー	
③	スキンケア　ベースメイク		③	ヘアー	
④	ポイントメイク		④	テーマメイク　クールメイク	
⑤	ポイントメイク		⑤	パーソナルカラー	
⑥	実技　ベースメイク		⑥	パーソナルカラーメイク	
⑦	実技　ポイントメイク		⑦	ネイル	
⑧	実技　ヘアー		⑧	撮影ワーク　案だし	
⑨	ナチュラルヘアメイク		⑨	撮影ワーク　仕込み	
⑩	撮影ワーク　ナチュラルメイク	前期試験	⑩	撮影ワーク　仕込み	
⑪	ナチュラルメイク		⑪	撮影ワーク　広告ヘアメイク	後期試験
⑫	デザイン画		⑫	ナチュラルヘアメイク	
⑬	ネイル		⑬	テーマメイク　エレガント	
⑭	ブライダルヘアメイク		⑭	テーマメイク　モード	
⑮	ブライダルヘアメイク		⑮	テーマメイク　クリエイティブ	
準備学習 時間外学習	長期休暇に自宅で自主練習		評価方法	試験・出席率 自分の個性を出せているか、作品のバランスはきれいか 手の動きやタッチの仕方などの手技 技術者モデル共に楽しめる雰囲気を作れているか　など	
受講生への メッセージ	初めての事がいっぱいで覚えることも 沢山あるので漏れのないように メモをしっかり取って忘れないように 毎回復習してください		使用教科書 教材 参考書	ヘアメイク教材一式 個人で必要ならば別道具準備 ネイルの授業のみ　ネイルチップ	

2022年度　授業シラバス

科目名	進級制作	必修 選択	必修	年次	1	学科	タレント科　昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 （8単位）	開講区分	通年

【授業の学習内容】
この業界での基礎知識を学び、実際に舞台で演じる事によって役者として演技の感覚を養う。

【到達目標】
芝居へのアプローチや芝居感を身に着けることを目的とする。

【教員の略歴】
芸能プロダクション所属、俳優、お笑い、ラジオDJ、などマルチに活動

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
①	オリエンテーション		①	グループ分け	
②	ミュージカルとは		②	演目ごと振り分け	
③	ミュージカル鑑賞		③	キャスト決め	
④	舞台について検討する①		④	台本読み	
⑤	舞台について検討する②		⑤	台本読み・グループごと稽古	
⑥	舞台について検討する③		⑥	台本読み・グループごと稽古	
⑦	ストレッチ・基本レッスン		⑦	台本読み・グループごと稽古	
⑧	ストレッチ・基本レッスン		⑧	Aチームリハーサル	
⑨	ストレッチ・基本レッスン		⑨	Aチーム本番	
⑩	歌レッスン		⑩	Bチームリハーサル	
⑪	歌レッスン		⑪	Bチーム本番	
⑫	歌レッスン		⑫	反省会	
⑬	ダンスレッスン		⑬	Cチームリハーサル	
⑭	ダンスレッスン		⑭	Cチーム本番	後期試験
⑮	ダンスレッスン	前期試験	⑮	反省会・振り返り	
準備学習 時間外学習	たくさんの作品に触れましょう。		評価方法	試験・出席率・授業態度・課題	
受講生への メッセージ	先輩達から受け継がれてきたミュージカルを一緒につくっていきましょう。		使用教科書 教材 参考書	特になし	